



筑波学院大が 新法人で運営

筑波学院大（つくば市吾妻、大島愼子学長）は31日、新たな学校法人としての認可が文部科学省から出たと発表した。これまでは母体の東京家政学院の法人下にあったが、独立する形に。認可されたのは「学校法人筑波学院大学」。認可は同日付。学校法人東京家政学院の下に東京家政学院大と

ともに筑波学院大が設置されていたが、1法人1大学の体制になる。

実際の新法人への運営移行は来年4月。現在の学部・学科構成は維持し、4月から現在の4コースに加え地域デザインコースを新設する。学生の身分に変更はない。新法人の理事長には、学生編入で連携協定を結ぶ専門学校「東北外語学園」（仙台市）理事長で、東京家政学院理事の橋本綱夫氏が就任する。